



なまこ壁の蔵とおおらかな造りの母屋が特徴です。瓦や漆喰壁の美しさに注目。

伝説の銘酒「師団一」を生んだ かつての造り酒屋

善通寺駅から続く片原通りに、旧瀬川酒店の土蔵造りの建物があります。明治31(1898)年に琴平の榎井えないにある丸尾醸造所の支店として始まり、大正6(1917)年に棟上げをしたのが現在の建物。母屋は本瓦ぶき入母屋造で、続いて北倉、西倉、東倉と増築されました。

その昔は酒造りも行っていて、日露戦争がいせん凱旋のときに、初代師団長の乃木希典が、八幡神社に奉納した酒をたいそうほめてくれたことから、「師団一」という名前をつけて販売

していました。しかし第二次世界大戦後、丸尾本店への酒造権譲渡に伴い廃業しました。その後も店は改造を重ね小売酒販店として営業を続けていましたが、現在は廃業し、貸店舗として存続しています。

駅前が続くこの通りには古い建物も残り、今と昔が不思議な調和を見せています。

